

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横須賀米軍独身下士官宿舎(628)	階数	8
建設地	横須賀市楠ヶ浦町無番地の一部、泊町1番の一部	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	464 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2017年2月20日
敷地面積	7,428 m ²	作成者	一級建築士事務所 株式会社建築事務所横浜事務所
建築面積	1,828 m ²	確認日	2017年2月20日
延床面積	14,283 m ²	確認者	一級建築士事務所 株式会社建築事務所横浜事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆★★★★

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合	街並みから突出する事の無いように努め、周辺への圧迫感を和らげるような建築計画とした。	-
Q1 室内環境	内装材はF☆☆☆☆を使用し、シックハウス対策に配慮した。	敷地内には適切に緑化を施すことで地表温度上昇を極力抑える計画とした。
Q2 サービス性能	階高を十分に確保し、ゆとりある設計とした	
Q3 室外環境(敷地内)		
LR1 エネルギー	LED照明を採用することでエネルギー使用の高効率化を図り環境負荷の低減に努めた。	屋外照明に関して広告物照明は設置しない。
LR2 資源・マテリアル	LGS工法とし、躯体と仕上げが容易に分別可能な計画とした。	
LR3 敷地外環境		

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される